

# ひらつか

岡崎地区の町内福祉村「おかざき  
鈴の里」(岡崎5928)に響く歌  
声。歌の好きな地域の男女約30人が  
コーラスの練習をしています。練習  
の合間には楽しくおしゃべり。福祉  
村での活動はボランティアや利用者  
の生きがいにもなっています。  
今回は、地域でさまざまな取り組  
みをしている福祉村を紹介します。



## 笑って歌って

目次	1～3面… <b>特集</b> 笑顔あふれる町内福祉村…生活支援やふれあい交流を紹介します。	8面…「写真リポート」「次回納期の市税・手数料」「がんばれ湘南ベルマーレ」「心の防犯灯」	◎発行 平塚市 ◎編集 秘書広報課 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 ☎0463-23-9467 <a href="http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/">http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/</a>
	4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉「子どもの健康」 「お知らせ掲示板」	広報ひらつかのPDF版と電子書籍版やデジタルアーカイブは、市ウェブからご覧いただけます。	

# 笑顔あふれる福祉村

福祉村は、外出の付き添いやごみ出しなどの生活支援や、高齢者のサロン活動や子育て支援などのふれあい交流をしています。活動を通して、住民同士が支え合う地域づくりを進めます。

福祉総務課 ☎21-9848



## 地域住民が集う場所に

### ●ふれあい交流活動

福祉村は、世代を問わず、誰もが気軽に立ち寄れる場所です。高齢者向けに健康体操をするサロンや、子育てを支援する活動などを定期的に開催しています。

おかざき鈴の里では、月2回、歌の好きな人たち30人程度が集まり、コーラスをしています(一面写真)。公民館まつりで披露する『ソーラン節』など3曲を歌っています。歌の合間には笑いが起こり、終始にこやかに練習しています。

サロンではテーブルを囲んで世間話をする地域の皆さん。コーヒーマシンの香りが漂う福祉村は、ゆつくりと時間が流れます。

### ●子どもたちが育つ場所

「難しいよ」「この問題教えて」にぎやかに響く児童の声。おかざき鈴の里では、元教師や一般企業を退職した方ら、経験豊富な講師が小学生に勉強を教える『ピノキオ』を、毎週土曜日に開いています。岡



一人ひとり分かりやすく教える

崎小学校の児童約70人が4、5人のグループに分かれ、国語と算数を勉強します。

各グループに1人ずつ講師がつき、児童をサポート。個別の課題を解いていきます。

夏休みにはスーパーボールや電池を使った理科実験をするなど、和やかな雰囲気です。『ピノキオ』を開設して7年。7年前に通っていた児童も、現在は高校生となり、講師として教えることもあります。

おかざき鈴の里は、子育てで世が集まる憩いの場としても利用されています。施設内には、子どもが遊ぶおもちゃが置かれ、親に連れられて子どもたちが楽しそうに遊びます。「雨で公園が使えない時は、親同士で連絡を取っておかざき鈴の里に集まる」と話す母

## 活動が生きがいに

あさひの絆では11のグループがサロンや健康体操、ウォーキングなど、独自の活動をしています。グループの一つ「あさひの絆・畑でサロン」では、出縄にある約150坪の畑を借りて、ジャガイモや白菜など季節に合わせた野菜を栽培・収穫しています。グループの代表を務める入江政昭さん(写真左)は「参加者は自分で作った野菜の収穫や、仲間と話しながら作業することを楽しみにしています」と話します。

農家の方からトマトの苗をもらったり、栽培方法を学んだりして、地域交流も盛んになりました。

毎週2回の畑作業は始めた当初は5~6人程度だった参加者が、今では15人まで増えました。95歳の方も参加し、休憩を取りながら、鍬で畑を耕したり、草取りをしたりしています。

高齢者の中に混じり鍬を持つのは、大学生の矢部萌子さん(写真右)。「農業に興味があって参加しました。畑を耕すのは、力を使うので大変な作業ですが、やりがいを感じます」と話します。

入江さんは「あさひの絆の畑で野菜を育てることが、生きがいや趣味になっている人も多くいます。私もその一人です」とほほ笑みます。



親たち。母親にとっても情報交換の場になっていきます。

福祉村は子育て世代や高齢者ら地域のさまざまな世代の方が多く訪れます。顔見知りになることが、地域で子どもを見守れる安全なまちづくりにつながっていきます。

### ●絆まつりを企画、活性化

公民館まつりの準備をする旭南地区の福祉村「あさひの絆」(出縄184-2)の利用者たち(左写真)。日ごろ、サロンで作った手編みのマフラーや髪留めを公民館まつりで展示します。

あさひの絆では、編み物やペン習字、絵手紙などのサロンを、それぞれ月1回開いています。市内にある15カ所の福祉村には全部で



## 広がる支援の輪

### ●生活支援活動

各福祉村は、ふれあい交流活動のほかにも生活支援活動をしています。地区内に住んでいる方に、話し相手やごみ出しの手伝い、外出の付き添いなどをするボ

ランティアを派遣して、生活の手助けをします。

### ●身近な生活を援助

旭南地区は一人暮らしの高齢者が多いため、毎月10、

## 福祉村から広がった交流

**お** かざき鈴の里では、112人がボランティア登録しています。ボランティアの一人、川邊<sup>かわなべたくろう</sup>暁郎さんは、平成16年のおかざき鈴の里の立ち上げからボランティアを続けています。

「『地域デビューするために、何かやってみれば?』と妻に言われたのがきっかけ」と当時を振り返ります。退職前は、朝早く出掛け、夜遅くに帰宅する生活でした。自治会の当番は妻に任せきりで、近隣住民との関わりはほとんどありませんでした。

**退** 職してから半年、おかざき鈴の里の設立に向けたボランティアの募集があり、思い切って応募しました。

「知らない人ばかりで戸惑いはありました。でも最初の会議でグループ長をやらされちゃってね」と、はにかむ川邊さんは、開村の準備を進めていく中、やりがいを感じていました。

**川** 邊さんは開村から現在まで、通学時の見守りや歩道の草取りなどを続けています。そのほか、年4回発行している広報紙やイベントのチラシ作成も担当しています。「ボランティアをしてからパソコンの技術が格段に上がりました」と笑顔を見せます。

「福祉村に来てもらうには、イベントの数は多いほどいい」と話す川邊さんは、運営委員として活動を企画しています。コーヒーなどを飲みながら、地域住民が出品した油絵や折り紙を鑑賞できる『ギャラリー&カフェ』(2面上写真)は、運営委員が新たに企画したイベントです。



チラシを作る川邊さん

毎月第2月曜日～金曜日に開催し、毎回、80人程度が訪れています。絵・書道・手芸などの作品を発表する場所を提供し、「出品者の知人らが訪れ、地域の方に福祉村を身近に感じてもらえました」と喜ぶ川邊さん。「鑑賞した人の中には『次回は私も出品したい』と意気込む人もいて、好評です」と話します。

### ボランティアで充実した日々を

「体を動かさないと衰えていきますから」と話す川邊さん。人と接する機会が多いボランティア活動は、自身の介護予防にもつながっています。

**福** 祉村がきっかけでほかのボランティア活動にも参加するようになった川邊さん。自身の活動を『男の井戸端会議』と表現します。「退職すると男性は家にこもりがち。でも、ボランティア活動がきっかけで趣味が合う人との交流も増えました。若い世代とも接する機会があり、元気をもらっています」と話します。

「おかざき鈴の里は上下関係がなくて、気軽に参加できる場所です。福祉村で何かを求められて、少しでも人の役に立てたらただけでうれしいんです」とほほ笑みます。

## 四之宮に福祉村がオープン

四之宮地区の福祉村が四之宮公民館(四之宮3-20-26)にオープンしました。市内では16番目となりました。

約1年前から準備委員会を設置して、各地区の福祉村を見学に行くなど、開村の準備を進めてきました。公民館の1室を畳からフローリングに張り替え、高齢者が椅子に座ってゆったりできる空間にしました。4月からサロンなどを開催。公民館を利用する団体の交流の場としても利用できます。

開設日時は毎週月・火・水・土曜日の午前10時～午後3時。対象地域は西真土・東真土の一部地域と四之宮です。

### ボランティアを募集しています

四之宮地区の福祉村では、運営や支援活動をするボランティアを募集しています。詳しくは福祉村にお問い合わせください。

四之宮地区町内福祉村 ☎55-0750



開村の準備を進めてきた委員

## お近くの福祉村を訪ねてみませんか

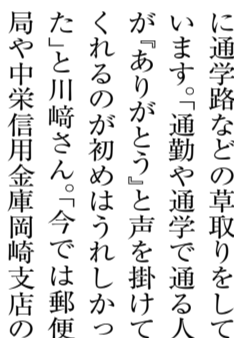
名称	所在地	電話番号
松原地区町内福祉村	天沼7-8 松原分庁舎内	24-1223
花水地区町内福祉村	袖ヶ浜20-1 なぎさふれあいセンター内	21-3401
港地区町内福祉村	夕陽ヶ丘66-1 港ベイサイドホール内	23-9836
金田地区町内福祉村「いちごの会」	入野104-2	35-4670
岡崎地区町内福祉村「おかざき鈴の里」	岡崎5928	58-8789
松が丘地区町内福祉村「みんなの広場」	東中原2-5-15	33-5005
城島地区町内福祉村「城島ふれあいの里」	小鍋島621-1 城島分庁舎内	53-1822
大神地区町内福祉村「大神よりきの郷」	大神2885-3 東部福祉会館白寿荘内	55-7114
八幡地区町内福祉村「サロンやわた」	西八幡2-3-50	23-2989
旭南地区町内福祉村「あさひの絆」	出縄184-2	33-9733
富士見地区町内福祉村「ぬくもりの家」	中里35-1	33-7533
旭北地区町内福祉村	公所868 西部福祉会館内	59-2090
吉沢地区町内福祉村「ひだまりの里」	上吉沢226	58-2055
横内地区町内福祉村「横内スマイル広場」	横内3790-2	53-8501
なでしこ地区町内福祉村	撫子原12-54 なでしこ公民館内	35-1328

▶ 活動内容や窓口開設日はお問い合わせください。



30件のごみ出しや部屋の整理などの生活支援を依頼されます。地区の範囲も広いので、ボランティアの派遣は簡単ではありませんが、依頼があれば、利用者の近くに住むボランティアが支援します。

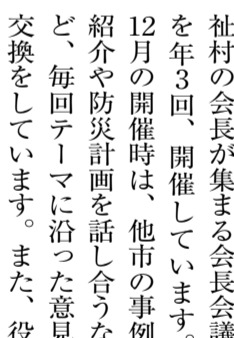
高村に住む松木順さん(写真左)は毎週2回、ごみ出しをなさひの絆に依頼しています。「足を痛めているから歩くのが大変でね……。毎回来てくれるから助かるよ」と嬉しそうに話します。ごみ出しをするのは、近所に住む高橋了子さん。「ごみ出しのたびに松木さんの元気な顔を見ると安心する」と続けます。



**広がる地域の支え**

おかざき鈴の里では、早朝に通学路などの草取りをしています。「通勤や通学で通る人が『ありがとう』と声を掛けてくれるのが初めはうれしかった」と川崎さん。「今では郵便局や中栄信用金庫岡崎支店の心するのよ」と見守りも兼ねて、ごみ出しをしています。

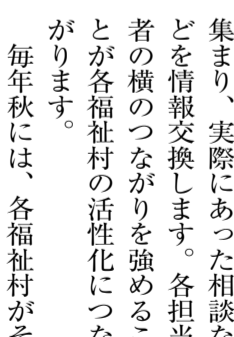
あさひの絆では聴力が弱く、視力も落ちた方とホワイトボードを使って筆談する生活支援もしています。「世間話をするだけでですけど、とても楽しいと言ってくれます。私たちも喜んでもらえることが何よりうれしいですね」と、こやかに話す筒井さん。「人を支援する活動がいつしか自分の支えにもつながっているんです」と続けます。



**つながりを強め、活性化**

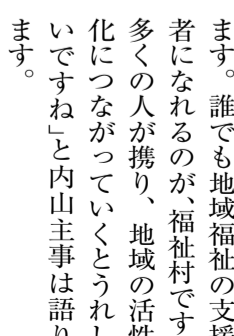
各福祉村は、市や社会福祉協議会と連携し、情報交換や活動紹介の場を設けています。情報交換の場として、各福祉村の会長が集まる会長会議を年3回、開催しています。12月の開催時は、他市の事例紹介や防災計画を話し合うなど、毎回テーマに沿った意見交換をしています。また、役員、大住中学校の校長先生や生徒たちが、休日にもかかわらず参加してくれて本当に助かります」と話します。

岡崎地区では、平成21年3月から岡崎地下道に壁画を描いています。中学生の提案で始まった、おかざき鈴の里と



**市全体の取り組み**

地域自治会の共催プロジェクト。下絵は保育園児や児童らの絵で構成したり、中学生がデザインしたりしました。色塗りには地域の方も多く参加します。約6年掛けて描いた壁画は地域の支えを得て、今年秋の完成を目指しています。



「母親が子どもを連れて来るだけでも、福祉村の中は和やかになります。その場にいる高齢者も子どもから活力をもらい、子育ての手伝いをします。誰でも地域福祉の支援者になれるのが、福祉村です。多くの人が携り、地域の活性化につながっていくとうれしいですね」と内山主事は語ります。

福祉村の魅力は、地域住民主体で活動ができると同時に、世代間の交流ができることです。

# 募集

応募方法の  
詳細は下段

## 市病院運営審議会の公募委員

任期は6月1日〜平成29年5月31日。2人(選考)。詳細は、病院総務課や市民病院ウェブにある募集要領でご確認ください。

■ 〒254-0065 南原1-19-1 市民病院の病院総務課 ☎ 321-0015 内線3197 や市民病院ウェブにある申込書を、郵送または直接、4月20日(月)までの平日午前8時30分〜午後5時に、同課へ。

## 経営支援のアドバイザーを派遣します

専門知識や経験のあるアドバイザーを派遣して、販売促進や魅力ある店舗づくりを支援します。派遣は年3回まで、1回2時間以内。

次の条件を全て満たす店舗8店(選考)①市内で営業している、フランチャイズチェーンなどではない小売業・飲食業・サービス業②資本金の額

## 春の親子野菜づくり体験教室と採れたて調理教室

野菜の植え付けから収穫までを体験して、収穫した野菜を自分で調理します。野菜づくりについて学びませんか。農の体験・交流館(寺田縄457-5)。荒天中止。

①種・苗植え付け 4月18日(土)午前10時〜正午。

②種まき・管理作業 5月23日(土)午前10時〜正午。

③一部収穫・管理作業 6月20日(土)午前10時〜正午。

④収穫・調理 7月25日(土)午前10時〜午後2時30分。調理は花菜ガーデン(寺田縄496

## 市北西部の土地区画整理事業が完了しました

独立行政法人都市再生機構が平成6年度から進めていた、真田・北金目特定土地区画整理事業が3月6日に完了しました。

この地区の施行総面積は約68.6㍓で、宅地面積は約49.4㍓です。西側が東海大学湘南キャンパスに隣接しています。また、塚越古墳や真田神社、北金目神社などもある、古い歴史を持つ場所です。

集落も古くから存在することから、屋敷などに大木が点在する、緑豊かな土地です。さらに、富士山や丹沢山地を望むことができるロケーションです。

市街地からつながる幹線道路や、スーパーなどの商業施設、塚越公園などの緑地も充実しています。

問 都市整備課 ☎ 21-8783



―1)でします。

市内在住の小学生と保護者15組(先着順・1組3人まで)。1組1000円④は花菜ガーデンの入園料も。長靴・軍手・タオル。汚れてもよい服装でお越しください。

■ 電話で、3月24日(火)午前8時から、農の体験・交流館 ☎ 5201へ。

## 再生家具を提供します

粗大ごみから再生可能な家具を修理・再生して、提供します。50個程度(抽選)。1人1点。修理費用程度を負担。

■ 4月1日(水)〜10日(金)、午前9時〜午後4時(10日は正午まで)に、四之宮7-3-5のリサイクルプラザ ☎ 51-5301で、現物を確認して、申込書を直接、同プラザへ。

## 子ども英語教室とドッジボール教室

青少年会館。各20人(抽選・初めての方を優先)。

①子ども英語教室 工作やゲームをしながら英語を学びます。5月2日(土)にはイ



人気旅行ガイドブック「ことりっぷ」の平塚版ができました。地元食材を使ったランチにお薦めの店舗や、バラを使ったスイーツ、3つの観光モデルコースなどを紹介しています。A5判変形16ページフルカラー。市民プラザや市役所本館1階総合案内、公民館などで無料で配布しています。

問 商業観光課 ☎ 35-8107

スターパーティーをします。保護者も見学できます。

4月4日〜5月2日の土曜日、全4回、午後2時〜3時15分。4月1日現在、市内在住の小学校1〜2年生。筆記用具・色鉛筆など。200円。

②ドッジボール教室 ドッジボールのルールで、柔らかいフライングディスクを使う

ニユースポーツです。中学生・高校生とチームで遊びます。

4月11日・18日の土曜日、全2回、午前10時〜正午。4月1日現在、市内在住の小学校3〜6年生。運動着・室内用運動靴・タオル・飲み物。

■ 教室名・必要事項(①は名前のローマ字表記も)・学年・参加経験の有無を、はがき・ファクス・メールまたは

直接、①は3月25日(水)②は31日(火)までに、〒254-0041 浅間町12-41 青少年課 ☎ 32-7029 FAX 31-1441 (seishounen@)へ。

## 馬入ふれあい公園サッカー教室

4月からサッカー教室を開きます。各教室全8回。馬入ふれあい公園馬入サッカー場

■ 電話で、4月10日(金)から、まちづくり財団文化事業課 ☎ 32-2237へ。

①未就園児サッカー教室 市内在住の2〜3歳児②親子サッカー教室 市内在住の4〜5歳児と保護者③レディースサッカー教室 市内在住・在勤の18歳以上の女性。

日程・申し込み方法などの詳細は馬入ふれあい公園ウェブをご確認ください。

■ 馬入ふれあい公園馬入サッカー場 ☎ 24-1137

## 劇団四季ミュージカル鑑賞バスツアー

電通四季劇場「海」(東京都港区東新橋1-8-2)で上演される「アラジン」をS席で鑑賞します。

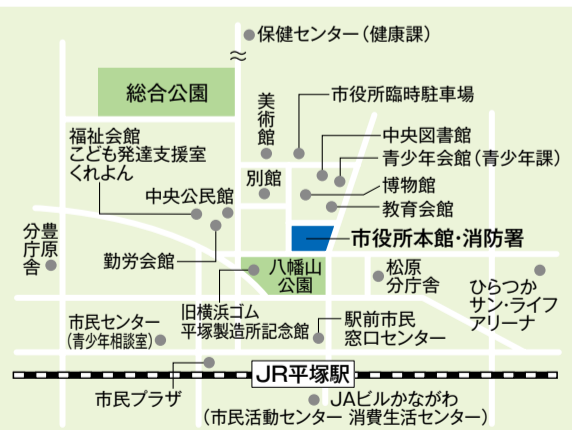
7月11日(土)午前9時30分、市民センター集合。3歳以上の方120人(先着順)。1万2500円、小学校6年生以下は7000円(チケット代・弁当代・旅行保険料を含む)。

旅行業者は神奈中観光(神奈川県知事登録旅行業第2-2号・東京都町田市鶴間1-534-1)。

■ 電話で、4月10日(金)から、まちづくり財団文化事業課 ☎ 32-2237へ。

## 応募方法

- 募=応募方法 (応募が必要です)
- 問=問い合わせ
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686 平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、3月23日(月)午前8時30分から、受け付けます。
- メールでの応募の場合(☎)以下に city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



## 記入例

往復はがき		郵送・ファクス・メール	
住所	〒000000	イベント名	郵便番号
氏名	〇〇〇〇〇〇	住所	郵便番号
		全員の氏名	住所
		電話番号	全員の氏名
		その他の事項	電話番号
			その他の事項
返信		往信	

## お知らせ

### 土砂災害ハザードマップ

崖や溪流の土砂災害警戒区域などの位置や避難情報の入手方法、避難方法が載っています。避難経路を検討するなど、土砂災害への備えに活用してください。今号の広報ひらつかと一緒にポスティングで配布しています。届いていない方はお問い合わせください。

■ 災害対策課 ☎ 21-9734

### 子ども読書活動推進計画(第三次)を策定

平成27年度から5年間の指針を定めました。目指す子ども像に「考える力」「豊かな心」「人と人との絆」を掲げて、妊産婦らに向けた読書活動の推

進などを目指します。計画は、3月20日(金)から、図書館ウェブ・公民館などでご覧いただけます。

■ 中央図書館 ☎ 31-0428

### 住民票などの不正取得を本人に通知します

4月1日(水)から、住民票の写しや戸籍謄・抄本などが第三者に不正に取得されたことと判明した場合には、不正取得された本人に、証明書の種類、数、交付した日などを郵送でお知らせします。

■ 市民課 ☎ 21-8773

### 市民意識調査の結果

まちづくりを進めるための基礎資料にするために、平、